

山行報告書

報告書作成

2012年1月15日

山名 [山域]	猿投山 (629m)	目的と方法	事前トレーニング
登山期間	2012年1月3日(火)	山行形態	ピストン
参加人数	3人		

行動記録

碧海信用金庫今村支店(700)--猿投神社==御門杉手前140m駐車地(755,810)--登山口(813)--西ノ宮(920)--御船石(945)--東ノ宮(1004)--猿投山(1030,1050)--ベンチ(1106)--林道出合(1208,1325)--猿投山(1440)--東ノ宮(1502,1515)--御門杉(1615)--駐車地(1617,1628)--猿投神社(1630,1700)--碧海信用金庫今村支店(1800)

概念図



日誌:

安城から車の流れはスムーズ、約1時間で猿投神社に着く。猿投神社左奥に登山者用駐車場あり。10台以上駐車可能、トイレあり。今回はここを利用せず、林道を進み、門杉手前140mの駐車地に止める。先着1台あり、その気になれば3台駐車可能。

トレーニングのため、Yさんは15キロ、Mさん、Fは12キロを担ぎ、ゆっくり登る。登山道は整備され、よく踏まれている。上りは西ノ宮のある自然観察路を、下りでは東ノ宮鳥居を通る。

東ノ宮からクリスマス寒波の雪が凍り、滑りやすい。山頂では、正月三ヶ日の中で一番展望が良いらしく御嶽山が見える。また、瀬戸側へ下ったベンチからは、恵那山、中央アルプスが見える。

山頂からは、瀬戸側へ下るため軽アイゼンを装着する。雪、落ち葉、岩、雪、落ち葉...の繰り返しだったが、山頂から林道出合までの下りと登り返し、そして東ノ宮までアイゼンを使用する。

林道出合では、Mさんが暖かいラーメンを作ってくれ、赤岳に備えザイルワークもしてくれた。

帰りは猿投神社で初詣をして帰路につく。

感想:

猿投山は東海環状を通るたび目にし、気になっていた山であった。安城経由で約1時間半、そして今回のコースでは約6時間の歩行で歩きが良かった。雪が降ればアイゼンも使用できる。また、御船岩やベンチからの展望、カエル岩などお楽しみもありトレーニングに最適の山であることが確認できた。登山者も多いため一人歩きもできそう。

今回、6時間の歩行と、3時間のアイゼン(8本爪)歩行でかなり筋力がつき、事前トレーニングができた。企画してくれたMさんに感謝です。